

第3学年2組 社会科 学習指導案

令和5年7月5日(水)第3校時
指導学級 3年2組(計38名)
授業会場 3年2組(2階)
指導者 貫井 雄太

1単元名「新たな時代の日本と世界」

2単元の目標

- ・国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。
- ・国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界において、現代の社会の変化の様子を多面的、多角的に考察し、表現させる。
- ・日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を身につけさせる。

3 学校研究主題

さいたま市小・中一貫教育 ～自助・共助の力をはぐくむために～

4 題材設定について

本校は令和3年度より小・中一貫教育の研究委嘱を受けている。その中で小学校と連携した避難訓練を行うなど、自助・共助を育む取組を行ってきた。今回の授業も「関東大震災」や「阪神・淡路大震災」、「東日本大震災」などの歴史的な事象を自分の生活につなげ、自助・共助の在り方について考えていく展開である。単なる語句としての知識ではなく、生きた教材にしていくことで自助・共助の意識をさらに高めていきたい。

また、最近は日本各地で震度5以上の大きな揺れを観測することが多くなってきており、普段生徒が気にしているニュースの中でも災害については特に関心が高い。さらに、本校は荒川・入間川が氾濫した場合、2F以上に避難しなければならない地域として洪水ハザードマップに示されており、日常から災害を意識した生活を心がけさせるために本時を設定した。

5 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。	国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。

6 指導計画

時	○主な学習内容・学習目標	●評価基準
1	○冷戦後の国際社会 冷戦の終結 国際協調への動き 相次ぐ地域紛争 ・冷戦の終結と、その後の国際協調や地域紛争の動きについて理解する。 ・冷戦終結後の世界の課題がどのような特徴をもっているか国家の関わり方に着目して考察し、表現する。	●冷戦が終結し、国際協調による地域統合が進む一方で、国家を超えた紛争が多発していることを理解する。(知・技) ●冷戦終結後の世界で国家の枠組みを超えた問題が発生していることに着目して考察し、表現している。(思・判・表)
2	○冷戦後の日本 冷戦後の日本外交 55年体制の終わり バブル経済崩壊後の経済 ・冷戦後の日本の課題について理解する。 ・冷戦終結後の日本の課題を、その原因や現在の問題と関連付けて考察し、表現する。	●冷戦後の日本の課題が、対外的には他国との歴史的関係の中から、国内的には経済的な好景気の反動により発生していることを理解している。(知・技) ●冷戦後の日本の課題の原因が過去にあり、現在でも続いていることを考察し、表現している。(思・判・表)
3 (本時) 4	○持続可能な社会に向けて 進展するグローバル化 日本社会が直面する課題 持続可能な社会 ・歴史的事象を自分事としてとらえ、自分のため、社会のために何ができるのかを考察し、表現する。 ・現在の日本の課題を捉え、SDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現する。	●歴史的な事象を自分事としてとらえ、自分のため、社会のために何ができるのかを考察し、表現している。(思・判・表) ●現在の日本の課題をSDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現している。(思・判・表)

7 本時の指導

①本時のねらい

歴史的事象を自分事としてとらえ、災害時における具体的な行動を考えさせる。

②本時の展開

過程	○学習活動・学習内容	※指導上の留意点 ☆評価基準
導入 (5分)	<p>○本時の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今年は〇〇の年です。〇〇に当てはまる言葉は何ですか」と発問し、関東大震災から100年の節目の年であることを知る。 ・その他に歴史で学んだ震災に関することをあげさせ、震災も歴史の中で重要な出来事であることを理解する。 	<p>※2023 年は関東大震災から100 年の節目の年であり、震災について理解を深めてほしいことを伝える。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 歴史で学んだことを基に災害時に自分たちにできることを考えよう。(防災) </div>		
展開 (38分)	<p>○ゲーム(クロスロード)の説明を聞く。</p> <p>○ゲーム(クロスロード)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 択の回答をしながら、なぜそのように考えたのかをグループ内で発表する。 <p>○防災マニュアルブックを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県が発行しているマニュアルブックを読み、自助に関する取組を知る。 <p>○災害時におけるその他の取組をグループごとに調べ、共有する。(TPC)・(じ・し・や・く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県以外の取組や世の中で目にしたことのある取組、またはTPCや本を活用し調べてわかった取組をオクリンクで共有する。 	<p>※ゲームが作られた経緯も合わせて伝える。</p> <p>※6人組のグループを作り、グループの人たちの意見や考えを聞きながら進めていく。</p> <p>※2 分で区切り、約6問行う。</p> <p>※【国や地方の自治体】・【学校】・【企業】の3つの視点に分けて調べさせる。(2人組で3グループ)</p> <p>※TPC は各グループに3台ずつ</p>
まとめ (7分)	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントに感想を記入し、発表する。 <p>○次回の課題を設定する。(じ・し・や・く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P270～P271の中から次回の授業の課題を設定する。 	<p>☆歴史的事象を自分事としてとらえ、自分のため、社会のために何ができるのかを考察し、表現している。(思・判・表)</p> <p>※課題は「〇〇(の・という)課題の解決に向けて、自分たちにできることは何か。」という形式で設定させる。</p>